



プロ野球選手 2 名が凱旋 大崎ソフトの練習始めに参加

1月3日(火)、本町出身のプロ野球選手、松山竜平選手(広島カープ)と浜屋将太投手(西武ライオンズ)が大崎ソフトボールスポーツ少年団の練習始めに参加し、交流しました。

練習は大崎中学校野球部などと合同でおこなわれ、お二人は指導者や子どもたち、保護者の前で今年の抱負を語った後、ノック練習や恒例のホームラン競争などで交流を深めました。



主将の大崎小学校6年穂園^{ゆうせい}雄星さんは「プロ野球選手のお二人が今年も来てくださり本当に嬉しい。僕たちも先輩たちが育ったこのグラウンドでこれからもたくさん練習して甲子園やプロ野球選手をめざしながら頑張ります」と力強く話しました。

他にも榎田大樹さん(元プロ野球選手)や篠田大聖さん(4月から独立リーグ・新潟アルビレックスBC)など多くのOBが後輩たちのためにグラウンドを訪れ、それぞれの目標に向かって1年のスタートを切りました。



着くずれ110番 ボランティアで35年

1月5日(木)に開催された20歳を祝う会において、日本和装学園大隅本校(学園長:溝口千恵子さん)の講師3名が「着くずれ110番」を開き、別室で振袖の襟元や裾、おはしよりなどを手際よく直し、会場内では着席時の袖の置き方などを助言しました。これは、溝口さんが38年前に教え子の成人式を見に行った際、多くの方が着くずれしている姿を見るに忍びなく、昭和61年からボランティアで手直しをするようになりました。新型コロナウイルスの影響で2年中止し、今年で35年目となりました。

溝口さんは「さまざまなことに感謝しながらボランティアをさせていただいています。これからも元気の間は続けていきたいです」と話されました。



大崎町監査委員に遠矢さんが選任されました

1月4日(水)、役場応接室において、遠矢忠^{ただし}監査委員の就任式がおこなわれました。2期目になります。

遠矢さんは、就任式のなかで、「与えられた仕事を全うできるよう全力で務めてまいります」とあいさつされました。

任期は、令和5年1月1日から令和8年12月31日までの4年間です。